

※お母様からのご依頼、ご要望で、お母様目線のアドバイスも記載しています

田中 太郎さま（仮）

この度は、お申し込みいただき、また太郎さんだけが描ける人生物語を鑑定させていただきありがとうございます。

この鑑定文が、太郎さんの心に少しでも響けば嬉しい限りです。

しかしながら物語には、必ず起承転結があり、良いことばかりではなく「耳が痛い」、「見たくない」といった内容もあるかもしれません。

そんな時は、どうぞ「読みたい」「なんとなく気になった」ときに、読んでいただければ幸いです。

また、「月日が経ってから読むと繋がっていた」ということは、星読みの世界ではよくあることです。

ぜひ、思い出したとき、「気」が向いたときに、何度も読み返していただければ、新たな発見と可能性に出会えます。

「なぜこうなるの?」「星読みの世界をわたしも知りたい!」と感じられた場合は、文末にあるHPより、他の鑑定も用意しておりますので、ぜひ参考にしてください。

では、太郎さんの人生がより輝くよう、心を込めて綴りました。

太郎さんの「宇宙からの伝言」をご覧ください。

プロ野球選手が、入院をしているお子さんを訪問し、「今日、ホームラン打つからね」と約束をする。

そして、その日のゲームで、その選手は本当にホームランを打ち、お子さんは、勇気と感動をもらう。その選手は、彼の「永遠のヒーロー」になる。

そんな光景が、太郎さんのホロスコープ（生まれた時の天体図）から浮かび上がります。

【人生のキーワード】

太郎さんのホロスコープを一目見たとき、「僕は、人と関わることで、この世界の理を知なんだ！」そんな一途な想いを感じました。

太郎さんは、「自分で物事を決める」よりも、「人の話を聞き、意見を求める人」です。

ホロスコープは大きく分けて4分割でき、上下左右の天体の偏り具合で、大体の性格傾向を掴むことができます。

太郎さんの場合、“誰がどうみても”天体が右側に偏っています。つまり、自分で物事を決めるにしても、誰かの意見を欲しがりますし、誰かの意見を聞いた方がスムーズに物事が進んでいく、ことを意味しています。

お母様からすると、太郎さんに「意見していいのかな？」と、考える場面があると思います。が、太郎さんに対しては「意見していい」という答えになります。

もちろん「子育てという基本的なルールの上で」、という前提にはなるのですが、太郎さんが拒否されない限りは、アドバイスを求める方だと覚えていてください。

【人生のテーマ】

太郎さんのホロスコープの醍醐味は「6ハウス」にあります。

なんと！太郎さんの天体たちは、主要10天体のうち半分がこの6ハウスに固まっているのです。（星読みは、主に10個の天体の性質を併せて読んでいきます）

太郎さんように、ここまで天体が密集しているホロスコープはわりとレアです。また、このようなホロスコープからは、「○○のように生きたい！」「絶対、○○をする！」という、強い意志を感じます。

太郎さんの場合、それは、「自分の行動や肉体を通して、この世界（宇宙）をより良いものにした！」という壮大なテーマになります。

ただ、実際に鑑定をしていて感じるのは、強いテーマを持っている人でも、そのテーマ通りに生きている人は少なく、まったくその逆を生きている人が多い、ということです。

太郎さんは「肉体を使う」こと。自分だけが良い、ではなく「宇宙（世界や社会）全体のために」ことを実践することで「自分の生きる意味」を実感しやすくなります。

太郎さんにとって「6ハウス」は人生においてベースとなるようなエリアです。では、この6ハウスは、何を表すかと？ いうと、

「日常生活」「毎日のタスク」「体を動かすこと」「（肉体的）奉仕」「健康」「ルーチンワーク」など、言わゆる「現実世界」を表す部屋（エリア）です。

この部屋に沢山の天体をもつ人は、「よく動く」「体を動かすことが好き」「人のために動く」など、『動く』こと『働く』ことを好む、もしくは無意識で行う傾向があります。

ですので、現在の太郎さんも多動的な部分があるかもしれませんが、これから出てくる傾向があります。しかし、それは「太郎さんらしさ」の一部です。

また、太郎さんは、山羊座と水瓶座に10天体の半分以上の天体を持ち、さらに天王星以外はすべて射手座以降の星座にあります。

12星座は、後半になればなるほど視野や世界が広くなる物語になっています。ですので、太郎さんは「とても高い視座」と「壮大な世界観」を持っている方。

一つ一つの行動や言葉に「世界のため」、「宇宙のため」、といった視点で物事を捉えているので、お母様からすると、「大ざっぱ」や「もっと繊細に考えてほしい」と感じることもあるでしょう。しかし、太郎さんからすると、それは「なぜ？」となるのです。

なぜなら、今の太郎さんはまだ、その世界しか知らないからです。「物事を捉える範囲が人より少し大きいだけ」なのですが、お母様が心配になるお気持ちもよく分かります。

ただ、15歳頃を過ぎればこの傾向はなくなります（**【人生の流れ】**参照）。逆にいうと、このような太郎さんの姿は15歳頃までしか見れません。

お子さんへの心配事は尽きないですが、ぜひ今だけの姿を楽しんでほしいと感じます。

【習い事について】

たとえば、何か習い事を考えられているのであれば「プール」や「体操」、今流行りの「リトミック」などが良さそうです。「書道」などの肉体的我慢（じっとしなければいけない）などの環境は適さない可能性が高いです。

あとは、「ボルダリング」などもおすすめです。なぜなら、太郎さんの太陽星座である「山羊座」には「山」や「岳」の意味があるからです。

【心について】

星読みにおいて、「心」や「プライベートな顔」を表す天体は「月」です。この月に「水

水瓶座」という、とてもユニークな星座を持っているのが太郎さんです。

水瓶座は「距離感を保つ」「俯瞰する」「個性」などの性質をもつ星座です。「あなたはあなた、私は私。お互いが良い部分を出すのが一番平等だよ、平和だよ」が水瓶座の世界観です。

ですので、太郎さんの「心」にも、「独特の距離感」や「自分の感情を俯瞰する」、また「人と違うことで安心」する傾向があります。

率直に、一般的を好むかというと、「オンリーワン」な人です。おそらく天邪鬼な部分や、独特のペースがあるはずです。

月水瓶座の人の幼少期は、敢えて人と違う行動をして気を引こうする、人と違うことで自分の存在をアピールする、ような行動をする子が多いと感じます。

さらに、コミュニケーションや言葉を表す「水星」も水瓶座なので、思考も少し独特なものがあります。（例えば、答えはあっているけど自分なりの計算式で問題を解くような）ただ、心と思考の関係は良好なので、「思っていることを言葉にする」ことは得意です。ただ、聞いてあげないとおそらく答えないので、聞いてあげてくださいね。

【「悩み」について】

太郎さんは、周りの人からは「ちゃんとした人」「良い子」「真面目そう」などと見られやすく、太郎さんご自身も、その期待に応えようとする、自分を良く見せようする傾向があります。

でも、心の奥ではお伝えしたように「他の人と違うことで安心する、好む」。このギャップが悩みの土台として、幼少期に形成されるケースが多いです。

なので、「すごくしっかりしているね」「ちゃんとしているね」みたいなことを言われても、本人からすると、実は、「褒め言葉」ではない。「しっかりもいいけど、、、」のように感じやすいです。

もちろん「すごいね」と、誉めてあげるとは素晴らしいことです。ただ、周りの人から「しっかりしているね」と、いつも言われていると感じたなら、少し角度を変えて「それは、太郎君にしか出来ないよ」「さすが、太郎君！」と誉めてあげる。すると、太郎さんは「僕、このままでいいんだ!」と、自信の土台を作ることが出来るのです。

また。水瓶座色が強い人の特徴として、幼少期に周囲に理解されず、その結果、自己肯定感が低くなり、さらにその反動で捻くれた角度から世界を見てしまう傾向があります。

太郎さんに対しても、「あなたは個性的でいいんだよ」「それが太郎の才能だよ」「周りと違うことは、あなたらしさなんだよ」と、太郎さんの世界を肯定してあげる。すると、太郎さんが水を得た魚のように、イキイキし始めるように感じます。

【お仕事について】

10天体の中に「天王星」という、「変革」や「独創性」などを意味する星があり、この天王星は、一定の世代に共通する集合意識を表しています。具体的に、太郎さんの世代は、「組織やお金」といった、目に見える価値観を変革しようとしている世代です。太郎さんの場合、その天王星のエネルギーを、主にお仕事の分野で受けています。

つまり、太郎さんがいわゆるサラリーマンや公務員のように組織に属して働く姿は、あまりピンときません。むしろ、少しニッチな分野で「自営業」や「フリーランス」といった自由度の高い形で活動される可能性が高いでしょう。なぜなら、太郎さんには「他人との競争の中で出世する」よりも、「独自の道を切り拓くこと」にこそ、力を発揮できる感性があるからです。

また、太郎さんにとって成功とは「目に見える成果を残す」だけではなく、さらに「この世界を良くすること」で初めて「成功」という烙印を押すことが出来ます。その部分については、梃子でも動かせない強い意志があります。

このことは素晴らしいことなのですが、反面、注意点にもなります。

なぜなら、太郎さんは「働く人」だからです。働かないという心配よりも「働きすぎ」のほうが断然心配です。特に自分のためではなく「誰かのため」になったとき、ボロボロになるまで肉体を酷使する。なのに、ご本人は「それが普通」だと感じている。

ここが、太郎さんのお仕事での注意点になりそうです。

【適職・天職について】

さらに具体的な適職を見ていきましょう。

太郎さんにとっての適職は、「ご自身の「五感を満たすお仕事」と「体を使うお仕事」です。

「食べる」「触る」「聞く」「見る」「嗅ぐ」ことで自分が満たされ、その感動を伝えることでお客さんも満たされるような職業がベスト。

たとえば、ファッション関係、飲食店、家具やアロマに関することなどです。ただ、その中でも、やはり少しマニアックというか、専門的な職種やポジションになるのではないでしょう。うか。

ファッション関係なら、GUやユニクロのようなアパレルチェーンではなく、独自の世界観があるブランド。また、飲食店なら〇〇専門店、のようなお店です。

太郎さんの“お仕事“については、常に「オリジナリティ」や「専門性」という言葉がセツトになっています。なぜなら、その部分に惹かれ「働きたい」と、太郎さんの心が動くからです。

また、「伝統的」「アンティーク」「古風」に関することに、太郎さんの「好き」というアン

テナが反応するように感じます。長い年月や歴史、創始者の考えや思想に共感して、その製品や会社のファンになることも経験するでしょう。この「好き」がそのままお仕事になる。という可能性もあります。

僕は、「ビンテージ製品を揃えたセレクトショップ」が、天職ではないか！と感じました。

次に、体を使ったお仕事についてです。

分かりやすく、「インストラクター」「スポーツ選手」が、向いています。僕が最初に浮かんだ職業は「消防士さん」でした。なぜなら、「体を動かす + 誰かのためになる」がわかりやすく直結するからです。

冒頭にお伝えした通り、スポーツ選手だと、病院に入院してるお子さんのためにホームラン打つ。まさに、その光景が目に見えます。

ただ、この「ホームラン」というのは、はあくまでも、わかりやすい例えです。スポーツ選手になられたとしても、少しマイナーな競技やポジション、インストラクターとしたも、専門性があると感じます（〇〇専門ジムなど）。

また、都市を重ねると、本業と併せて、なんらかの慈善事業（例えば、売り上げの〇%を寄付するなど）の活動をされる可能性が高いです。

【避けたこと】

悩みや停滞がない人生はないです。でも、「こんな状況だけは避けたい」という内容をお伝えします。

まず、「体を動かせない状況」は出来るだけ避けましょう。太郎さんにとって肉体は「自己表現」の最大の強みです。

太郎さんが今後、悩みやストレスが原因で、外出しない（できない）、体を動かそうとしない（できない）ようになったとき、それは赤に近い黄色信号です。おそらく、ご自身でもそれを理解し、ご自身で運動や外出で気分転換をされるようになります。

しかし、精神的な疲労から家の中にいる時間が長くなり、外部との接触をさける行動が重なると、自分の意思に対して肉体が反応していない証拠です。

自己表現とは、創作や言葉、ものづくりなどを手段にする人もいれば、家族や友人との時間の中、あるいは一人静かに内面を描き出す人もいます。太郎さんの場合は、「肉体」と「外の世界」がそれにあたります。

【「悩み」のアドバイス】

お子さんの悩みは、親の悩み。ですよ。

ここでは、お母様へ向けたアドバイスを纏めました。

太郎さんは、悩みやストレスを、どんな時に感じやすいか？

たとえば、お仕事や趣味などで、凄くやりたいことがある。ですが、「理想とする条件や分野がない」ようなことが起こりやすいように感じます。

太郎さんは、「これがやりたい」という世界が明確にあります。しかもそれは、かなりニッチな世界であったり、希望する条件が高いです。

このような状況にぶつかったとき、お母様は必死になって太郎さんと一緒に探してあげてほしいのです。もうそれは、海外や遠方、小説や映画の世界でもとにかく構わない。ここで太郎さんに「どんな条件でも探せば見つかる」、「この世界は、思っているよりも広い」ことを教えてあげてほしいのです。

なぜなら、太郎さんが「この世界はつまらない」と感じてしまいそうだからです。

仮に、自分の理想を曲げて「なんとなくココ」みたいな感じで選ぶと、おそらく悩みの沼にハマってしまいます。しかも、正義感が強い分、仕事でも習い事でも辞めたくても辞めない選択をされそうです。

ですので、お母様には、会社や常識、一般的な答えの「枠」を取っ払ってあげてほしいです。たとえば、海外の文化や常識外の選択をした人のSNSを教えてあげる、だけでもいいです。少なくとも、太郎さんよりも先に諦めないであげてほしい。

なぜなら、その姿を見た太郎さんは、この世界に「可能性」を感じることが出来るからです。表現が少し難しいですが、お母さんが太郎さんより「ファンキー」でいてあげてほしいです。

【人生の流れ】

太郎さんは、0歳〜15歳頃までは、水瓶座のエネルギーを強く受けます。ですので、この時期頃までは、**【心について】**でお伝えした水瓶座の特徴が強く表れます。

ただ、太郎さんが「中学校卒業ぐらいまでは、僕は水瓶座っぽく生きます！」と、高らかに宣言しているようにも感じます。

天体の並びは、人間の成長段階と不思議なほどにリンクしています。太郎さんの場合、「心と思考」で独創性を学び、「感性と意思」で挑戦し、その学びを一気に解放することで「自分の限界」を突破します。

この「自分の限界」とは、人生のブレイクスルーのようなものです。太郎さんが「本当の自分の生き方に目覚める」。スピリチュアル的に言うと「使命を思い出す」ようライフイベントです。

それが、40歳頃に起こる可能性が高いです。

【長期的な流れ】

この40歳付近は、太郎さんの人生で「一番の転機」です。この時期に、「生きる意」のきつかけ」を掴まれるように感じます。それは、ほぼまちがいに「自分自身を表現すること」に関係していて、これまでに築き上げたことを一気にアウトプットされそうです。

（これあくまでも僕の直感ですが、ヨガなどの身体の知識を活かされるのでは。）

ただ、運氣というのは、この時期に全部がひっくり返るようなことはありません。グラデーシヨンのように、ゆっくりと移り変わっていきます。

太郎さんの場合も、37、38歳頃からゆっくりと目標に向かっていく。そんな風に感じます。

もう一つ、太郎さんの「人生の転換点」をあげるのであれば、15歳頃になります。

具体的には、15歳頃までは、「ふんわり」とした雰囲気だったのが、急に何かを目指す、軸のある生き方へとシフトされます。

「成人式中学生の頃のお友達と再開したら、ビックリされた」みたいなことが起こるのではないだろうか。

人生の後半では70歳頃にも、これまでとは全く違う世界、新しい分野への興味が沸く流れがあります。

【一年の流れ】

2025年は、陽か陰で言うところ「陰」の年。心の内側にスポットライトが当たり、土台を固めるような一年です。

今年の春頃からゆっくりとその影響が出てきています。太郎さんご本人も戸惑いがあつたり、感情と向き合うことが多いかもしれません。また、お母様からすると、「悩みでもあるのかな？」と思うことが増えているかもしれませんね。

しかしそれは、太郎さんが次の重要なステップに向けた「手放し」をされているだけです。自分が必要なものと不要もの（物理的なもの、感情、思考など）を、一年間かけてゆっくりと整理するような時間の中におられます。

そして来年は「始まり」の一年になります。

具体的には、2026年8月5日から2027年7月27日まで、です。

【近未来の流れ】

この一年間は、整理された土地に種を植えるような時間です。たくさんの可能性と希望の種をどんどん植えていきましょう。

この時期はとにかく、情報が入ったらその場所に行ってみる。気が向いたらやってみる。がラッキーアクションです。お母様目線だと、ゴーサインを次々に出してあげる一年です。逆にいうと2025年は、そのための地ならしです。情報まみれの現代で、自分が本当に欲しいものだけを選別することは、一見地味ではありますが、とても大切な期間です。

この時植えた種は、短期的には2027年、中期的には2030年、長期的には2035年頃に、太郎さんの「切り札」として実る可能性があります。そして意識的に「刈り取る」必要もあります。

さらにそのもう一年先の2027年7月27日から2028年8月8日までは、2026年に始めたことを、試してみる、外に出すよう流れが来ます。

太郎さんの場合だと、発表会に出る、趣味が習い事になる、教える立場になる、などです。

【数秘でみる太郎さん】

数秘術とは、「数字に宿る意味」を読み解き、人の性格や運勢、人生のテーマを知る占いの一つです。また、スピリチュアルな視点で、使命や課題を知る手がかりをくれます。万人共通で扱う「数字」と、多くの人が心惹かれる「宇宙の星々」には、神秘的かつ壮大なエネルギーが宿っています。さらに、数秘術と星読みには、不思議と共通点やリンクを起すことが特徴です。

数秘術で太郎さんを読むと、精神世界やスピリチュアルとの関連性、また人一倍、感覚が鋭く、感受性が強い人です。

例えるなら、「インスピレーション」と「感受性」を混ぜ合わせ、「直感」と「理想」で人を導く「光」のような存在が太郎さんの本来の姿です。

ただその反面、感受性が強すぎて、不安やストレスを受け取りやすい。現実感を失ったときに、理想と現実のギャップに苦しむことがあります。

そうならない為に、太郎さんが覚えておきたいキーワードは「バランス」です。

「自分」と「相手」、「直感」と「思考」、「肉体」と「心」など、太郎さんには広い視野がある分、両方の性質や気持ちを捉えてしまいます。

たとえば、相手や肉体に意識が行き過ぎたとき、太郎さんは「だれかの為」にオーバーワークになります。

そうならないように、常にご自身の「偏り」に気を向けることは、太郎さんが豊かな人生を送る秘訣になります。

また、太郎さんが、自分の「土台」と「型」を決めることで、このバランスがとりやすくなる性質をもっています。

一般的に枠や型にハマることは、ネガティブな意味で捉えられがちです。しかし、太郎さんにとっては取り入れるべき要素です。

自分のスタイルやペースを崩さずに進むことは、ワガママに感じるかもしれませんが、しかし、太郎さんにとって、その生き方は好都合。なぜなら、数秘術でも太郎さんは「相手」の数字を持っているからです。

太郎さんが多少「ワガママ」と感じてても、その結果、多くの人に豊かさと幸せを与えられる。それは結果的に「だれかの為」になるのではないでしょうか。

「自分への愛情」。このテーマを常に意識することで、「太郎さんらしい人生」を歩むことが出来ます。

【数秘でみる本当の才能】

また、数秘術では、私たちは敢えて乗り越えるテーマを持って生まれるとされます。それは、そのテーマを乗り越えることで、自分の本当の才能に気づくためです。つまり、「本当の才能」と「乗り越えるテーマ」は表裏一体だということです。

さらに、その才能を敢えて封印するように、ご自身は「恐怖」や「ネガティブなこと」と認識していたり、その才能を活かせない環境に身を置くケースが多いのです。

太郎さんの場合は、「冒険心」や「ご自身の世界を広げること」、また「自分の意思を示すこと」が、そのテーマとなります。たとえば、過度な心配性なご家庭に育つ。自分の意見を発信できない環境に身をおくケースが多く、大抵は「安全の枠」に入れられています。

具体的には、「これは危ない」「あれは、どうなるかわからない」と、どんどん肉体的制限が増えていきます。

星読みでもお伝えしたように、太郎さんにとっては肉体は、一番の武器です。肉体で表現する喜びを知るために、このような環境を選ぶという見方も出来ますが、占いは活かすものです。

ぜひ、太郎さんには冒険をさせてあげてください。それは「もう少し大きくなったら」ではなく「今」です。

太郎さんを見ると、おそらく危なっかしい部分があると思います。でもその“野性味”こそ、太郎さんの「自己表現」です。

太郎さんは、思い通りにならない悔しさ、上手くいったときの喜び、もっと僕を見てほしいという寂しさ、ありがとうという感謝を肉体で表現されます。それは幼少期だけではなく、太郎さんの本来の性質から来ています。

それをしなくなった場合、それは「成長」ではなく「できなくなった」可能性が高いです。だからこそ、太郎さんらしさを大切に見守ってあげてください。

【数秘でみる「好き」】

恋愛での「一般的なタイプ」、趣味趣向での「流行り」や「メジャー」という言葉とは縁遠く、自分の感覚が満たされる、心が惹かれる対象にしか興味はありません。

むしろ自分が好きなことを「周りも好き」や「みんな同じ」という理由でやめてしまわないか心配です。

ほっておいても好きの対象を見つけられますが、意見は求めてこられません。

星読みと同様、ニッチな世界を好み、ハマると奥深くまで追求するマニアックな素質があります。

「あなただけのパワースポット」

星読みでは、太郎さんのご生年月日をもとに、太郎さんとご縁が深い場所を見ることが出来ます。それは「恋愛」や「仕事」、また「心の健康」や「肉体」に関して良い場所、悪い場所、また、「棚ぼた的なラッキー」や「修行のような鍛錬」が起こりやすい場所なども教えてくれます。

ただ、その対象は「地球」です。そのため、ご縁がある場所が「海の上」というケースも少なくないため、現実的に行けそうで、ご縁がある場所を文字数の許す限りお伝えします。

※治安や情勢などは、必ずご自身でご確認ください。

「海外」

・人生を根底から変える場所

●ボルネオ島（マレーシア）

人生の価値観が根底から覆されるような場所。ですので、「良いとき」よりも「壁にぶつかったとき」に行くの良い場所になります。行った時に「いい」と感じるより、後から振り返ると「転機になった」というケースが多い。

・人とのご縁がある場所

●ダーウィン・メルボルン・ホバート（オーストラリア） ●西安（中国）

人間関係が活発になる場所。また、自分の名前が売れる、知られる、ような傾向もあります。つまり、深い浅いに関わらず「人」と触れ合う機会が多くなりやすい地域です。反対に人選も大事です。

●豊かさを味わえる場所

・ハンブルグ・ブレーメン（ドイツ）

心が大きくなる。豊かな気分になりやすい場所です。反面、浮かれやすかったり、心がフワフワする感じもあります。

「日本国内」

全般的に、東日本より西日本の方がご縁が強い傾向があります。

・心が満たされるような場所

●高知市（高知県） ●新居浜市（愛媛県） ●三原市（広島県） ●大田市（島根県）

どちらかと言えば、心を落ち着かせに行く場所です。「遊ぶ」より「整える」行動が吉。

・思考と情報に縁がある場所

●糸島市（福岡県） ● 神崎市（佐賀県） ● 熊本市（熊本県）

良い情報が手に入る、また、勉強や仕事が捗る場所です。具体的には、交渉事や現地に滞在しての執筆などが向いています。いつもより話す機会が多くなりそうです。

【縁起のいい場所・行動（チャージポイント）】

一言で、「縁起のいい」と言っても、ご自身の気持ちや状況で、その意味は変化します。

ここでは、次の2点をお伝えします。

・陽のチャージポイント

調子のいい時や、流れをさらに良くしたいときに行くべき場所や行動

・陰のチャージポイント

落ち込んだ時や、流れを変えたいときに行くべき場所や行動

・「陽のチャージポイント」

時計屋、歴史的な建造物、アンティークなお店、大企業、国会議事堂、山、アウトドアシヨップ、古着屋

キャンプ、登山、経営者の集まる場所への参加、接骨院での治療

このような場所は、太郎さんにとって、「心がときめく」「ポジティブな気分」「追い風が吹く」ような縁を運んでくれます。

・「陰のチャージポイント」

高い場所、天文台、照明が強い場所、技術者や職人と出会える場所、空や地球の大きさを感じられる場所、プラネタリウム

ネットのコミュニティへの参加、謎解きゲームへの参加、サークル活動、公共機関での移動（ゆっくり移動するのがベスト）

このような場所は、太郎さんにとって、「心が落ち着く」「リフレッシュ」「仕切り直し」のような縁を運んでくれます。

【まとめ】

ホロスコープを見れば見るけど、新しい世代のお子様です。

お母様からすると「これで大丈夫なのかな…」と心配されることも多いと思います。なぜなら世代の価値観と捉える世界が違うからです。

太郎さんは、間違いなく「強い意思」と「自身の役目」を知っている方です。

とにかく、行動や選択の枠を狭めるのではなく、「広げてあげる」。それだけで、お母様のお

仕事は結実するのではないか、と感じます。

【数秘】でもお伝えしましたが、太郎さんは過干渉、過保護ぎみの環境で育つ傾向が強いです。それは、ご家庭以外の環境かもしれませんが、少し頭の片隅に置いていただければ、お母様のお気持ちも楽になるように感じます。

ぜひ、太郎さんの個性を信じ、太郎さんの世界観を尊重してあげてください。そして、安心してください。

そして、お母様にもお母様の人生が輝くチャンスが日常に落ちています。ぜひご自身の人生もお楽しみください。

宇宙一わかりやすい星読み「モルマルの星読み講座」

[@熱田ぎんろう](https://morumaru.com)